

2019年度

事業報告書

期間：自 2019年4月1日 至 2020年3月31日

社会福祉法人 江田島市社会福祉協議会

2019 年度 社会福祉法人 江田島市社会福祉協議会事業報告書

2019 年度は、年末から中国の湖北省武漢市で発生した、新型コロナウイルスによる全世界への感染症拡大により、本会においても年明けからは、感染拡大防止のため、一部の行事を中止せざるを得ない状況となっていますが、組織内においては、人口減少・少子高齢化・地域住民のつながりの希薄化に伴う、生活困窮を始めとした複合的な問題に対応するため、くらしサポートセンター・障害者生活支援センター及び権利擁護センターを生活福祉係として一つにまとめ連携を深めることができました。

また、江田島市地域包括支援センターへ職員 3 名を派遣させることで、行政との連携強化を図りました。

そして、「誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり」の実現に向けて、地域住民・行政及び関係機関等と連携し、役職員一丸となって事業を展開しました。

なお、法人経営については、2017 年度・2018 年度と 2 年連続で赤字決算となっていました。業務見直し等により 2019 年度は黒字決算となりました。

2019 年度事業計画に基づき実施した事業の実績を、次のとおり項目別に報告します。

1 組織運営

(1) 理事会、評議員会等の開催

今年度の開催は、以下のとおり。(議案は全て可決・承認)

	開催日時	主な議案等
監事会 (第一回)	令和元年 5 月 24 日 (金) 9 : 00 開会	・平成 30 年度事業報告について ・平成 30 年度決算について
理事会 (第一回)	令和元年 6 月 3 日 (月) 10 : 00 開会	・平成 30 年度一般会計資金収支補正予算 (第 3 号) 案について ・平成 30 年度の事業報告及び決算の承認について ・平成 30 年度の会計および業務監査報告 2019 年度一般会計資金収支補正予算 (第 1 号) 案について ・新理事候補者等の承認について ・評議員選任・解任委員会の招集について ・第 1 回定時評議員会の招集について ・会長の職務執行状況の報告について
評議員選任・解任 委員会 (第一回)	令和元年 6 月 5 日 (水) 10 : 00 開会	・評議員の選任について

理事会（第二回）	令和元年6月21日 （金）13：30 開会	・会長・副会長の選任について
評議員会（第一回）	令和元年6月21日 （金）10：00 開会	・平成30年度一般会計資金収支補正予算（第3号）案について ・平成30年度の事業報告及び決算の承認について ・平成30年度の会計および業務監査報告 ・2019年度一般会計資金収支補正予算（第1号）案について ・理事／監事の任期満了に伴う選任について
理事会（第三回）	令和元年11月26日 （火）10：00 開会	・2019年度一般会計資金収支補正予算（第2号）案について ・給与規定等の一部改正について ・第2回（臨時）評議員会の招集について
評議員会（第二回）	令和元年12月10日 （火）10：00 開会	・2019年度一般会計資金収支補正予算（第2号）案について
総務・地域福祉部会	令和2年3月2日 （月）10：00 開会	・2020年度事業計画等について
理事会（第四回）	令和2年3月13日 （金）10：00 開会	・職場におけるハラスメントの防止に関する規程の制定について ・給与規定の一部改正について ・2020年度事業計画（案）について ・2020年度一般会計資金収支予算（案）について ・第3回（定時）評議員会の招集について ・会長の職務執行状況の報告について
評議員会（第三回）	令和2年3月30日 （月）10：00 開会	・2020年度事業計画（案）について ・2020年度一般会計資金収支予算（案）について

（2）事務局体制・各事業の効率的な運営の推進

ア 総合相談支援体制の整備・強化

（ア）生活福祉系の再編

昨年度まで、生活福祉係所属の事業所は生活困窮者支援を行う「くらしサポートセンター」のみであったが、要支援者の抱える課題は判断能力の低下・障害・家計や就労の問題等多岐にわたり、所属課の異なる「権利擁護センター」・「障害者生活支援センター」と共同で支援をするケースが多くなってきた。これを受け、今年度から、相談窓口の一本化・スピード感のある支援の充実を図るため、3つのセンターを一つにまとめ、生活福祉係として包括的な支援体制を整備した。

(イ) 地域包括支援センターブランチ事業の受託と職員の出向

今年度から、高齢者の介護・福祉・保健・医療の総合相談窓口である地域包括支援センターブランチ事業を受託し、能美町・沖美町の一部を圏域として、高齢者の総合相談対応や圏域の会議等への積極的参加によるブランチ事業の普及啓発活動を実施した。また、直営の地域包括支援センターに社会福祉士・保健師等3名の職員を出向させ、高齢者等への包括的支援事業を実施した。

◆出向詳細

出向開始月	出向職員資格・人数
令和元年4月	介護支援専門員 1名 社会福祉士 1名
令和元年8月	保健師 1名

イ 介護保険事業における請求業務の内製化等事務作業の見直し

これまで、訪問介護・通所介護・福祉用具貸与の4事業所における介護報酬及び利用料の請求業務を外注委託していたが、業務委託料が月額200,000円以上かかっており、また、利用者管理システムと連動していないため、事務作業においても非効率的であった。今年度から、4事業所の利用者管理や請求業務を一体的に行うことができるソフトを導入し、令和元年11月から、介護保険にかかる請求業務の内製を実施した。介護報酬や利用料の請求業務を総務課で一括して行うことにより、返戻等の過誤情報を速やかに事業所に確認し修正することができ、請求業務の効率化が図られるとともに、請求業務にかかる経費を削減することができた。

ウ 事務局・組織機構の強化を目的とした職員会議等の開催

(ア) 職員会議…事務局・正職員参加による、各事業の月次報告及び事故情報やヒヤリハット、苦情等の共有・協議

(開催日：4/9, 5/9, 6/5, 7/3, 8/2, 9/9, 10/2, 11/12, 12/6, 1/10, 2/7, 3/5)

(イ) 衛生委員会…職員の安全衛生に関する事項の審議調査及び推進

(開催日：4/9, 5/9, 6/5, 7/3, 8/2, 9/9, 10/2, 11/12, 12/6, 1/10, 2/20, 3/5)

主な審議内容

- ・時間外勤務の低減と年次有給休暇取得義務化に対する取り組み
- ・ストレスチェックの審議及び実施の推進
- ・定期健康診断受診の推進
- ・心身の健康維持対策（衛生講話や研修会の開催等の検討）

※2/20（木）開催の第11回衛生委員会では、産業医による衛生講話「喫煙と飲酒が心身に及ぼす影響」を実施。衛生委員以外にも、男性職員を中心に複数の参加があった。

(ウ) 在宅介護事業会議…介護保険・障害福祉サービスに関する法制度への対応や日々のサービス提供に係わる事項についての協議

(開催日：4/25, 5/22, 6/19, 7/17, 8/21, 9/18
10/23, 12/10, 1/20, 2/17,)

エ コンプライアンス推進のための苦情・事故等への取組

各事業で発生した苦情・事故・ヒヤリハット等について、組織全体での定期的な共有や原因分析・対策を行い、再発防止に努めた。

(ア) 苦情 20 件

苦情等の内容区分	件数	備 考
◆サービスに関する事項	7 件	その他 11 件の詳細 ・職員の対応 4 件 ・認知症の理解 1 件 ・人格の尊重 1 件 ・個人情報の保護 1 件 ・車両運転マナー 1 件 ・障害年金の申請 2 件 ・緊急一時資金貸付 1 件
◆個人の嗜好・選択に関する事項	1 件	
◆制度施策法律に関する事項	1 件	
◆その他の事項	11 件	

(イ) 事故（居宅サービス等） 2 件

事業所	概要
訪問介護事業所	訪問中に、ご利用者様の体調が急変したため、救命処置を行った。訪問したヘルパー一人での対応が困難であったため、近隣でサービスを実施していたヘルパーが応援に駆け付け、2名で対応した。救急車の手配・担当ケアマネジャーへの連絡等も行った。 ご利用者様は、病院で治療を受け、無事に回復された。
自立支援センター あおぞら	通所利用中に、意識喪失し嘔吐痙攣等の症状があったため、救命処置を行った。すぐに意識は回復したが、救急車の手配・ご家族・障害者生活支援センター担当者へ連絡した。 ご利用者様は、病院で治療を受け、無事に回復された（検査の結果は異常なし）。

(ウ) 事故（車両関係） 12 件

	内容
物損事故	10 件（このうち、4 件はご利用者様が同乗していたが、いずれの場合もご利用者様にケガなし。）
人身事故	2 件（2 件とも、停止している車両に、未成年者の運転する自転車がぶつかったもので、同乗のご利用者様にケガなし。）

(3) 外部研修会への参加支援等による人材育成

職員個々人の能力や専門性の向上のため、研修会への参加を支援した。更に職員会議等において、研修参加者が内容報告を行い、職員が最新の情勢・知識・技術を習得する機会を定期的に設けた。

ア 総務課

採用選考に係る人権問題研修会（1日）、特定処遇改善加算に関する研修会（1日）、働き方改革セミナー（1日）、社会福祉会計簿記講座初級編（2日）、社会福祉会計簿記講座中級編（2日）、働き方改革関連法施行後の実務上の問題点（1日）、社会福祉法人会計基礎研修（1日）
経理研修（1日）、企業トップマネジメント人権問題研修（1日）

イ 地域福祉課

(ア) 地域福祉係

被災者生活サポートボランティアセンター運営者研修会（1日）、地域支え合いセンター課題研修会（2日）、地域支え合いセンター管理者研修（2日）、災害支援セミナー（1日）、防災教室「ふれあいサロン防災プログラム」トレーナー養成講座（1日）、コミュニティ支援に活かせる「参加型料理教室」体験講座（1日）、生活支援コーディネーター養成研修（2日）、生活支援相談員研修（1日）、地域共生フォーラム（1日）、県社協職員研修会（1日）、職業紹介責任者講習（1日）
「お茶の間フォーラム」あんしんサポートリーダー（地域支え合い推進員）研修（1日）、ボランティア交流サミットひろしま（1日）、地域づくりを支援する専門職研修（1日）

(イ) 生活福祉係

かけはし専門員実践力強化研修会Ⅰ（1日）、かけはし専門員実践力強化研修会Ⅱ（1日）、くらしサポートセンター（生活困窮者支援事業）社会福祉士実習指導者講習会（2日）、生活困窮者自立相談支援新任従事者研修会（2日）、自立相談支援事業従事者養成研修（7日）、生活福祉資金貸付事業新任担当職員研修（1日）、精神障がい者支援の障害特性と支援技法を学ぶ研修（2日）、レクリエーション研修（1日）、医療的ケア児支援に関する視察研修（1日）、広島県相談支援従事者現任研修（3日）
かけはし生活支援員スキルアップ研修（2日）、就労準備支援事業従事者養成研修（3日）、かけはし専門員研修（1日）、成年後見制度実務者研修（1日）、中核機関のつくり方・活かし方～地域の支援システムと成年後見制度の利用促進～研修（1日）、精神保健福祉研修（1日）、強度行動障害者養成研修（2日）、相談援助技術向上研修（1日）、サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者更新研修（2日）、社協の役割を見つめ直すテーブルセミナー（1日）、家計改善支援研修（1日）

ウ 在宅福祉課

(ア) 居宅介護支援事業所

認定調査員新規研修（1日）、法令遵守・倫理・個人情報・プライバシー保護研修（1日）、広島県主任介護支援専門員研修（12日）、介護支援専門員更新・専門研修課程Ⅰ（11日）、介護支援専門員更新・

専門研修課程Ⅱ（８日），主任介護支援専門員実務研修実習指導者養成研修（１日），認定調査員フォローアップ研修（１日），自立支援型ケアマネジメント研修（１日）

（イ）訪問介護事業所

広島県医療的ケア児等支援者研修会（２日），介護分野における「特定技能」制度説明会（１日），介護労働者の雇用管理責任者講習（２日），上手なセルフコントロールパワハラ防止研修（１日）

（ウ）通所介護事業所

呉・海田ブロック研修会（２日），福祉送迎運転講習会（１日），人権擁護研修（１日），介護職員の為の医学知識研修（１日），介護技術基礎研修（１日），問題をそのままにしないための思考力向上研修（１日）

（エ）福祉用具貸与事業所

福祉用具新商品研修会（３日），福祉用具専門相談員指定講習会（７日），利用者の生活を支援するための福祉用具研修会（１日）

（オ）自立支援センター

クレーム対応研修（１日），働く障がい者の将来の生活設計（１日），障害年金勉強会（１日），福祉送迎運転者講習会（１日），発達障がい者支援基礎研修（１日），サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者研修（４日）

（４）健康確保・安全衛生の推進

職員の健康増進や安全衛生に関する知識・技術のレベルアップを図ることを目的として，職員全員が学べる研修会を実施した。

ア 歯科衛生研修会

日 時：令和元年８月９日（金）１７：３０～１８：３０

場 所：能美保健センター（集団指導室）

参加者：３０名

内 容：歯科衛生士（地域福祉課所属：池田香織）による講義と実践

講義：口腔ケアについて

歯周病と全身疾患について他

実践：咀嚼チェックガムを使用した噛む力チェック



イ 腰痛予防対策研修会

日 時：令和２年２月２１日（金）１７：３０～１８：３０

場 所：江田島市農村環境改善センター

参加者：３４名

内 容：理学療法士（澤医院：小川馨子氏）によるストレッチの講義と実践

講義：なぜ筋肉は固くなるのか

柔軟な筋肉をとりもどすには他

実践：ストレッチの実践

腰痛予防「これだけ体操」の復習



2 地域福祉事業の推進

(1) 権利擁護事業

「権利擁護センターえたじま」では、判断能力が低下した高齢者や障がい者の権利と財産を守り地域で安心して暮らすことができるよう、成年後見制度に関する相談から申し立て、受任まで一貫した支援を実施し、福祉サービス利用援助事業により、日常的金銭管理の支援、福祉サービス等の利用の相談支援を行った。

ア 法人による成年後見事業

イ 福祉サービス利用援助事業「かけはし」

ウ 弁護士による無料法律相談会

【6/22 相談件数 12 件, 11/9 相談件数 7 件, 3/4 相談件数 10 件】

エ 講演会「ひきこもりの支援について」 (参加者 79 名)

実績は別紙のとおり (P32～P33)

(2) 心配ごと相談事業

市内各地区において、心配ごと相談員（地域の民生委員・人権擁護委員・行政相談員等）が、住民の日常生活における困りごとの相談に応じた。

※令和2年3月31日現在の心配ごと相談員数 25 人

	江田島	能美	沖美	大柿	合計
開催回数	12 回	12 回	12 回	12 回	48 回
相談件数	12 件	16 件	6 件	21 件	55 件

(前年度 52 件)

(3) ふれあいサロン事業・お茶の間サロン事業

地域の高齢者や障がい者、子育て中の親同士がサロンでの交流を通じて、「仲間づくり」「生きがいくくり」「健康づくり」が図れるよう、サロンの運営や新規開設を支援した。また、平成30年の豪雨災害をきっかけとして、防災に対する住民の関心が高まっており、江田島市地域支え合い事業等関連他事業と協同して、地域の防災力向上の取組を実施した。

令和2年2月26日付で新型コロナウイルス感染症広島県特別警戒本部長の示した「広島県主催イベント等の取扱について」に基づき、全てのサロン責任者に対して、ふれあいサロン活動の自粛を要請した。現在は、電話での相談受付や活動の助言・情報提供等を行っている。

ア ふれあいサロンの運営支援

現在、市内において 63 サロン（江田島：22 か所、能美：16 か所、沖美：12 か所、大柿：13 か所）が、1 か月に 1 ～ 2 回、公民館や集会所等で活動をしている。

運営費の助成や訪問等による状況把握に加え、住民ボランティアや専門機関等による健康・防災等の出前講座のメニューを整備し、メニュー表の作成・実施に向けた繋ぎの支援を行った。メニュー表の作成等の支援は、今年度 8 つのサロンで実施した。

◆サロン活動（公民館等で開催）



◆サロン訪問（活動状況の聞き取り）



◆ふれあいサロン出前講座の様子

講座「リハビリの専門家に聞いてみたい！～転倒や骨折・寝たきりを防ぐための健康づくり～」



講座「ハーモニカ達人による多彩な音色のハーモニカコンサート」



イ お茶の間サロン（常設型）の運営支援

大柿町柿浦地区を対象とした常設型のお茶の間サロン「笑福亭」（毎週木曜日 10：00～15：00 開催）の運営を支援した。定期訪問の他，月に一度「あんしんサポーターリーダー会議」に参加し，活動の振り返りや今後の計画作成に対する助言等を行った。

また，新たな取組として，地域の防災力向上を目的とした地域マッピング・まち歩き防災ウォーキングを開催したり，空き家を活用した一時避難所の確保に向けた取り組みを支援したりした。今年度の，主なサロン活動は以下のとおり。

(ア) 地域交流イベント・行事

・7/ 4（火）：七夕会

⇒参加者で飾りの作成や飾り付けのイベントを行い，地域の商店や関係機関に出来上がった七夕飾りを配布し，活気づけを行った。

・7/ 9（火）：世羅町「サンサンサロン」視察研修の受入

⇒笑福亭の立ち上げ時の説明や，茶話会方式で，互いのサロンについての情報交換会を行い，交流を図った。また，笑福亭参加者メンバーが主体となって，レクリエーションを実施した。

- ・ 8/29 (木) : YELL (広島県立大学えたじま応援プロジェクトサークル) と交流会
⇒学生ボランティアが主体となって、合同でのカレーライスづくりやレクリエーションによる交流を図った。
- ・ 9/ 5 (木) : 広島国際大学の実習生との交流会
⇒実習生が企画したレクリエーションにより、交流を図った。また、笑福亭の参加者へのインタビューなどを行った。
- ・ 10/17 (木) : お茶会
⇒サロン参加者である住民が講師となって、お茶立てをしながら交流を図った。
- ・ 11/28 (木) : 江田島消防署職員の地域実習受け入れ
⇒H30 年豪雨災害時の消防の活動状況等を参加者向けに講話して頂き、豪雨災害時の振り返り等意見交換を行った。
- ・ 12/19 (木) クリスマス会
⇒クリスマスケーキや料理作り、プレゼント交換等行って、交流を図った。
- ・ 12/26(木) 正月飾りづくり
⇒地域にある竹や花の飾りを持ち寄り、正月飾りを手作り作成し交流を図った。

◆七夕会



◆「サンサンサロン」視察訪問受け入れ



◆YELL と交流会



◆江田島消防署職員による講話



◆クリスマス会



◆正月飾りづくり



(イ) 地域の防災力向上を目的とした取り組み

- ・ 4/18 (木) : 地域マッピング
⇒リーダー会議にて、実際に地域マッピングを行っている地区の取り組み状況を紹介し、今後の活用目的やマッピングの方法などに

ついて検討をした。

- ・8/30（金）：まち歩き防災ウォーキング（北迫地区）
⇒地域住民，地区民生委員，江田島市（危機管理課）や，江田島市
地域包括支援センターランチ（担当：江能福祉会）等，広島国
際大学実習生と協力して，実際にマッピングを行った北迫地区
をウォーキングし，土砂崩れ等が想定される危険箇所の確認や，
一時避難場所にできそうな箇所の把握などの実態把握を行った。
- ・2/18（火）：北迫地区一時避難場所(北中宅)確認
⇒上記の経過を通して，地域踏査の結果をマップに落とし，空家を
活用した北迫地区の一時避難場所を配置する方向となったため，
物件の確認を行った。

◆地域マッピング

(※生活支援体制整備事業協同)



◆北迫地区：まち歩き防災ウォーキング

(※地域支え合いセンター事業協同)



◆北迫地区一時避難場所(北中宅)確認

(※生活支援体制整備事業・地域支え合いセンター事業協同)



ウ ふれあいサロン代表者会の開催

市内全地区のサロン世話人が集まり，サロンの運営や活動の進め方につ
いて情報交換を行った（年一回定期開催）。その他，福祉・健康等に関す
る最新の情勢報告や，今年度から始まった地域包括支援センターランチ
事業について説明した。

日 時：令和元年6月3日（月）13：30～15：00

場 所：江田島市農村環境改善センター

参加者：70人

市内サロン世話人，各地区ブランチ担当者（江能福祉会，誠心福祉会，まほろばの里沖美，江田島市社会福祉協議会）等

内 容：サロン事業の規定・助成金・保険についての説明

ブランチ事業の説明・担当者の紹介・レクリエーション交流

感想や意見など（※一部抜粋）

- ・他の代表者と交流できたことが良かった。
- ・レクリエーションをサロンでも実践しようと思う。
- ・サロン内でマンネリ化があるので，出前講座の紹介をして欲しい。
- ・100歳体操との兼ね合いや運営方法を考えていく必要がある。
- ・サロン助成金は現在一律だが，サロンによって支給額を段階で変えたらどうか？人数・催し・日数などばらつきがある。
- ・その他市町の活動事例を見せて欲しい。

◆地域包括ブランチ紹介

◆サロンで出来るレクリエーション講座



（4）ボランティア事業（愛称：えがおえたじま応援センター）

ボランティア活動の調整や小中学校における福祉教育・大学生によるボランティア活動の支援を継続的に実施し，ボランティア活動の知識・技術の向上に努め，ボランティアの育成を行った。また，イベント参加・交流会開催等によるボランティアの普及を推進した。

- ◆令和2年3月31日現在えがおえたじま応援センターボランティア登録86名
（うち，ボランティアセンター活動のみ：86名）
（うち，しおかぜボランティア活動のみ：82名）

ア えがおえたじま応援センター運営会議の開催

日 時：平成31年4月12日（金）10：00～12：15

場 所：能美保健センター（機能訓練室）

参加者：ボランティアセンター運営委員8名

- 内 容：
- ・平成30年度ボランティアセンター事業の報告
 - ・平成31年度ボランティアセンター活動予定の協議
 - ・次期委員の協議
 - ・福祉教育活動者（協力ボランティア）の報告
 - ・ボランティア養成講座の内容の検討

イ しおかぜネット（オール広島ささえあいネット）事業の推進

住民互助活動として、生活上の「ちょっとした困りごと」を抱えた住民の解決のお手伝いを、登録ボランティア（しおかぜさん）によって行う。

有償ボランティアの仕組みであり、基本的に利用者から一時間あたり300 円の利用料を頂く。あくまで、「やっというて」「任せる」など、登録ボランティアのみによる活動ではなく（サービスではない）、利用者と一緒の活動を原則としており、住民同士の繋がりや支え合う関係づくりを目的としている。

依頼内容としてはゴミ捨てが最も多く、依頼件数の5割を占める。次いで、掃除、買い物、通院付き添いが多い。

実績は別紙のとおり (P34)

ウ しおかぜネットつながり作り交流会の開催

しおかぜネットに登録しているボランティア活動中の「しおかぜさん」と、ボランティア活動を「してみたい」「興味がある」住民の方が交流する機会を設け、活動の現状やボランティア活動の在り方等について意見を交わした。「しおかぜさん」同士が日頃ボランティア活動している中で「想い」を共有することで、活動の士気を上げていく事ができ、「しおかぜさん」の担い手を増やすことに繋げることができた。

日 時：令和元年9月5日（木）10：00～12：30

場 所：江田島市農村環境改善センター

参加者：21 名（しおかぜ活動者、しおかぜ活動予定者、地域住民、広島国際大学実習生、社協地域福祉係職員）

内 容：・しおかぜネットの事業説明
・グループトーク
・食事会

感想や意見など（※一部抜粋）

- ・活動者同士で意見交換する場はあまりないので良かった。
- ・しおかぜ活動する前に、活動者から具体的な活動の話を聞いたことがとても良かった（しおかぜ活動予定者より）。
- ・他市町との交流会をして欲しい。

◆当日の様子



エ オリーブ収穫体験

オリーブ収穫体験を通して市民のつながり作りをすると共に、ボランティアの担い手を発掘する。

日 時：令和元年 11 月 2 日（土）9：00～12：00

場 所：個人所有のオリーブ畑（大柿町飛渡瀬）

参加者：17 名（コーディネーター 3 名，地域福祉係職員 2 名を含む）

内 容：オリーブ収穫体験を行った後，オリーブをつぶし絞って，マイオリーブオイルを試飲する。

感想や意見など（※一部抜粋）

- ・様々な人たちとオリーブ収穫を通して交流できてとても楽しかった。
- ・ボランティアのことだけではなく，オリーブオイルの食べ比べも勉強になった。
- ・どのようなボランティア活動があるのか知りたい。

◆当日の写真



オ フェスティバル江田島

地域福祉活動等の社協事業についての広報と，赤い羽根共同募金の寄付の呼びかけを行った。

日 時：令和元年 11 月 17 日（日）8：00～16：00

場 所：国立青少年交流の家 集いの広場

参加者：地域福祉係職員 4 名・YELL 3 名

内 容：赤い羽根共同募金の街頭募金，社協地域福祉事業の PR ブース
ワークショップ（バルーンアート・スライムづくり）

◆当日の写真



カ 江田島市被災者生活サポートボランティアネットワークの推進

災害発生時の被災者の生活支援等のため、平常時からネットワークを作り、災害ボランティア活動や被災者支援に係る協議を推進している。災害ボランティア活動の普及啓発も行っている

(ア) 第1回 被災者生活サポートボラネット推進会議

日 時：令和元年6月6日（木）10：00～12：00

場 所：能美保健センター（機能訓練室）

参加者：18名（代理出席2名）

内 容：・平成30年度江田島市被災者生活サポートボラネット事業報告
・令和元年度の事業予定の説明及び協議
・今後の平常時及び災害時の対応と連携について（協議）

(イ) ボラ写真展 in 広島

日 時：令和元年8月1日（木）～2日（金）10：00～20：00

場 所：広島駅エールエール地下広場

内 容：・平成30年7月豪雨災害ボランティア活動写真パネル展示
・参加者貼り付け（主に江田島市・呉市・坂町の活動）
・トークセッション ・復興ライブ 等

◆ボラ写真展 in 広島の様子



(ウ) 2019年度(第7回)ボランティア交流サミットひろしま

「防災・減災・会って話してつながろう」をテーマに、被災者生活サポートボラネット推進会議委員と本会職員で参加し、地域で実践できる繋がりづくりのコツや防災ツールを学んだ。

日 時：令和2年2月2日（日）10：00～16：30

場 所：広島県社会福祉会館 2階 講堂

内 容：防災・減災に関わる6分科会を実施



キ 学生ボランティアの育成・後方支援

平成 27 年度に立ち上がった、県立広島大学ボランティアサークル『江田島市応援プロジェクト「YELL」』。「YELL」は、江田島市内の課題や応援が必要な事に対し、自分達が出来る事を考え企画し、地域組織・住民などと一緒に活動を実施している。「YELL」の活動が、スムーズに地域組織や住民とつながることができ、且つ、地域との交流を深め、継続的に実施していけるよう助言や後方支援を行っている。今年度の、主なサークル活動と支援の内容は以下のとおり。

5/5(日) : 江田島手作り市(光源寺:能美町高田)運営のお手伝い
⇒今年度のサークルメンバー一新後初活動。運営のお手伝いを行ったが、前年度メンバーからの引継ぎが無かったこともあり、具体的な目的・目標が漠然としていた為、「目的」や「進め方」について話し合う事を提案した。

7/7(日) : 江田島巡り(えたじま花まつり、灘尾記念館等)
⇒「目的」や「進め方」を確認した後、江田島市を知る事から始めることになった。今年度入部した新入生5名らと共に行事に参加したり、江田島の観光名所や特産品等販売する商店等を回り、今後の活動の参考となるよう、江田島の魅力を知る機会を設けた。当日開催された「えたじま花まつり」にも参加した。

8/23(金) : 「てらこや」の運営のお手伝い
⇒飛渡瀬地区 妙覚寺で開催している子どもたち寄りの場「てらこや」に参加。たこ焼きづくりなどを通して、子ども達との交流を図る。

8/29(木) : 「笑福亭」のサロン訪問
⇒サロン参加者と関係づくりの為、「交流レクリエーション」や「カレーづくり」を参加者と一緒に行う。

10/26(土) : 吉田病院主催「紅葉の会」の手伝い
⇒出店の手伝い、ステージでの準備を通して、高齢者の方との交流を図る。

11/10(日) : 江田島手作り市(光源寺:能美町高田)運営のお手伝い
⇒ワークショップを行い、子ども達との交流を図った。

11/17(日) : フェスティバル江田島の手伝い
⇒社協のブースにて、赤い羽根共同募金の寄付の呼びかけ活動やワークショップでスライムづくりを行った。

12/26(木) : てらこやにてクリスマス会のイベントを行う。
⇒子どもの参加が少なくなってきた「てらこや」にきてもらうきっかけ作りとしてクリスマス会を行った。クリスマスケーキ作りやビンゴ大会などを通して子ども達との交流を図った。

1/28(火) : YELL との全体ミーティング(県立広島大学)
⇒YELL としての今の目標や想いを聞き、今後に向けてどのような活動を行うのか、職員との連絡の方法や役割分担について話し合った。

◆江田島巡りの様子（飛渡瀬 豆が島 / フウドにて）



◆常設サロン「笑福亭」にて交流



◆てらこや（クリスマス会）にて交流イベント



ク 小中学校における福祉教育の支援

高齢者福祉・障がい者福祉の基礎や江田島市の福祉の現状等についての座学や、高齢者疑似体験・車いす操作実習・地域のサロン活動への参加等のプログラムを通じて、生徒の「ふくし」の芽を育む事を目的に、市内の小中学校において、福祉教育の支援を行った。今年度は、大柿中学校・切串小学校、大古小学校の3校で開催した。

(ア) 大柿中学校 3年生 (33名)

4/25(木) 座学（ふくしについて）

5/17(金) 高齢者疑似体験（ボランティアさん4名）

6/10(月) 車いす体験（校内と校外）（ボランティア3名）

6/27(木) 地域サロン訪問（笑福亭、竹の子の会、もも組）



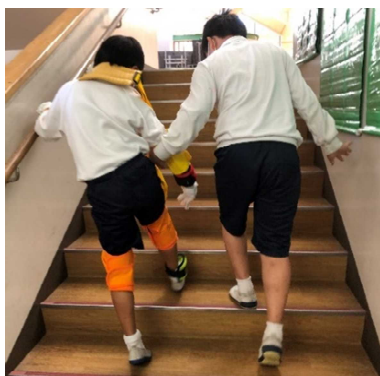
(イ) 切串小学校 4年生 (9名)

- 6/14(金) 座学 (ふくしについて)・高齢者疑似体験
- 6/20(木) 座学 (ユニバーサルデザイン)
- 7/8(月) 高齢者疑似体験・車いす操作説明及び体験 (校外)
- 9/11(水) 赤い羽根共同募金説明及び募金箱づくり・福祉車両見学
- 10/1(火) 赤い羽根共同募金の街頭募金 (切串港)
- 11/14(木) 座学 (ふれあいサロンについて)
- 11/28(木) ふれあいサロン訪問 (もも組)



(ウ) 大古小学校 4年生 (28)

- 11/6(水) 座学 (ふくしについて)・高齢者疑似体験
- 2/5(水) 車いす体験・福祉車両見学
- 2/26(水) ふれあいサロン訪問 (新開ふれあい交流会)



(5) 地区社協におけるボランティア活動の支援

江田島町13地区で実施している友愛訪問・給食配膳・敬老事業等について、事業の助成を行った。

※令和2年2月以降は、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、「3密 (密閉空間・密集場所・密接場所)」に注意しながら、可能な範囲で、安否確認・声掛け活動を続けていただくように依頼している。

(6) 高齢者介護者の会の支援

介護技術の向上、介護者同士の意見交換、心身のリフレッシュ等を目的とし、会の運営支援をした。毎月第三土曜日に能美保健センターで実施した。毎回概ね 15 人程度の介護者が参加している。

※新型コロナウイルス感染拡大防止ため、令和 2 年 3 月以降は中止。

(7) 安心生活創造推進事業

ア 「小地域テーブル会議」の開催

地域内のニーズ掘り起こしや、見守り支援方法・買い物支援方法を検討する為、自治会、民生委員、老人クラブ、女性会などの地域関係者による小地域テーブル会議を開催した。

(※生活支援体制整備事業協同 第 2・3 層協議体にも位置付け)

(ア) 各地域における主な小地域テーブル会議 38 回

(秋月地区 11 回、中町地区 7 回、中郷地区 3 回、山田地区 2 回、津久茂地区 1 回、鷺部地区 3 回、高田地区 3 回、柿浦地区 8 回(※ふれあいサロンリーダ会議を兼ねる) 他小単位のテーブル会議数回)

(イ) 各町(地区含む) 民児協定例会や各地区自治会連合会・老人クラブ連合会・女性会連合会等におけるテーブル協議 56 回

主な協議内容

- ・地域の状況や取り組み内容の共有
- ・マッピングにより浮き彫りになったことの情報交換や協議
→健康状態や生活状況が気になる人の現状や支援体制についてなど
- ・その他連絡事項及び協力依頼

(※生活支援体制整備事業、地域支え合いセンター事業協同)

◆小地域テーブル 話し合いの様子



イ 「えたじま見守り支援ネットワーク」の推進

地域内で、普段からの関わりや繋がりが薄く孤立しがちな方や引きこもりがちな方に対し、見守り支援員による安否確認・声掛け訪問を行う。既存の民生委員・友愛訪問・老人給食などの訪問活動も活用しながら、網の目を細かいネットワークを組んだ訪問活動を実施した。また、「生活上の困りごと」があれば関係機関に繋いだほか、支援内容が災害時の避難支援体制づくりにも活かすよう、地域の関係者と情報共有を行った。

令和2年3月31日現在の利用者人数：13人

見守り支援員：39人

(うち活動者：12人)

◆見守り支援員訪問の様子



ウ 江田島市買い物支援事業

近隣に商店などがなく買い物弱者がいる地域に向けて、移動販売車で出向き、買い物ニーズの充足だけでなく、高齢者や障がい者などの引きこもり防止、繋がりの場づくりを目指して実施した。移動販売での購入が難しい場合には宅配で対応した。事業開始から6年目を迎え、地域実情(ニーズ)が変容する中で、移動販売形態のマッチングしにくい地域も出てきている。令和2年2月末に、JA 呉くみあいマーケットの2店舗(是長・小用)が閉店したことや、移動販売実施地域のニーズ変化もある為、利用者にニーズ調査を行い、ニーズにマッチした事業改編を検討中である。

実施地域：8地区31拠点

(秋月地区、幸ノ浦地区、宮ノ原地区、鷺部地区、大須地区、
沖地区、柿浦地区、深江(大附)地区)

実施業者：㈱一光(沖地区以外)、後河内ストア(沖地区のみ)

実績は別紙のとおり(P35)

◆移動販売場所の様子(写真は沖美町沖地区)





(8) 社会福祉士養成に係る地域総合型実習（社会福祉援助技術現場実習）指導
実習生が地域に住み「地域で暮らすひとりの意識」と「ソーシャルワーカー」として考える為の実習指導を行った。

大 学：広島国際大学 医療福祉学科 3～4年生 計5名

期 間：令和元年8月19日～9月18日 計24日間

対象地域：大柿町柿浦地区 他

- 実習内容：
- ・障がいや高齢者等の相談支援・プランニング（個別支援）
 - ・施設や事業所での介助実習
 - ・専門職（MSW・ケアマネ・施設相談員）へインタビュー
 - ・地域活動組織（まち協・自治会・民生委員）へインタビュー
 - ・地域活動への参加（ふれあいサロン・集いの場など）
 - ・地域アセスメントから小地域福祉活動計画の企画立案
- ⇒これらを実習最終日に発表

◆柿浦地区地域踏査の様子



◆100歳体操「キキョウの会」参加



(9) 無料職業紹介事業

ハローワークの求人情報を活用して、仕事を探している方と人材を求める事業所の間に立ち、それぞれのニーズの把握に努めながら就労支援を行った。また、地域人材確保推進事業との連携をとることで事業の周知を図った。

求職者数	求人数	求人倍率	相談件数	紹介件数	就職件数
87人	222人	2.55倍	1,042件	117件	74件

※求職者数、求人数、求人倍率は、令和2年3月31日現在の有効分を、
相談、紹介、就職件数は年度合計を示す。

3 委託事業の推進

(1) 障害者生活支援センター事業

ア 委託支援事業

相談員3名による、障害者ひとりひとりの生活全般についての相談やサービス利用の援助、必要な保健福祉医療サービスの利用支援、その他障害福祉サービス事業所の運営に関する相談を実施した。

実績は別紙のとおり (P36)

イ 計画相談支援・障害児相談支援事業

相談支援専門員3名により障害支援区分認定のための訪問調査の受託、サービス等利用計画の作成(プラン作成)など計画相談支援・障害児相談支援事業を実施した。

実績は別紙のとおり (P37)

ウ 手話奉仕員養成講座

(ア) 入門編(全18講座18回)

期 間：令和元年5月11日(土)～令和元年9月14日(土)

日 時：毎週土曜日13:30～15:30

場 所：能美保健センター、江田島市農村環境改善センター

参加者：18名

(イ) 基礎編(全22講座20回)

期 間：令和元年10月5日(土)～令和2年3月14日(土)

日 時：毎週土曜日13:30～15:30

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3/7(土)と3/14(土)の2回を中止した。

場 所：能美保健センター、江田島市農村環境改善センター

参加者：14名

(2) 生活困窮者支援事業

既存の制度や機関では十分に対応できない生活困窮者に対して3事業を通して包括的に受け止め、本人の尊厳と意思を十分尊重しながら、どのような支援が必要か把握し、自立の為の支援計画を策定し、適切なサービスや関係機関につなげた。

ア 生活困窮者自立支援事業

総合相談窓口として、様々な相談を受けた。今年度は丁寧なアセスメントと、課題分析を行い、事業所内での支援方針の共有を図った。結果、自立支援相談プランの作成の他、他機関との協働支援が実施出来た。

課題は生活困窮者自立支援事業を通じての地域作りまで至らなかった。

イ 家計改善支援事業

税金の滞納や公共料金支払い、負債の相談を受け支援をした。支援者が指導をするのではなく、本人が主体となって取り組めるように支援を心掛けた。

ウ 就労準備支援事業

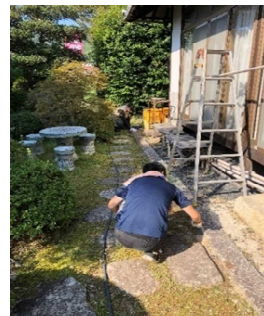
直ちに就労が難しい人（生活リズムが崩れている，社会との関わりに不安がある，就労意欲がわからない）を対象に，就労体験や面談等を通して生活リズムの改善を図った。

実績は別紙のとおり (P38)

◆就労体験

就労体験として，しおかぜ活動を実施しました。実施にあたっては，ボランティア保険に加入することで，安心して活動をする事が出来ました。また，ボランティア活動を通して，自己肯定感を高めることが出来ました。

就労準備支援事業は利用者にただ活動をしてもらうのではなく，職員も一緒に活動します。職員も一緒に同じ時間，同じ場所，同じ事をする事で，伴走支援を行います。



(3) 地域包括支援センターランチ事業

江田島市地域包括支援センターの地域の身近な相談窓口（ランチ）として，担当区域（能美町全域及び沖美町の三吉・高祖・美能地区）の，高齢者の総合相談対応等を行った。ランチ単独での対応が困難な場合は，江田島市地域包括支援センターへつなぎ，協力体制で支援を行った。また，担当区域以外からの相談があった場合も，該当区域を担当する各ランチへ速やかに情報提供を行い，連携を図った。

ア 総合相談支援

- ・高齢者，その家族，民生委員等からの相談対応を実施した。

実績は別紙のとおり (P39)

イ 介護予防の推進

(ア) 担当区域の実態把握や高齢者等の心身の健康保持のため，百歳体操やふれあいサロン等で出前講座を行う等した。

- ・対象となる高齢者に対し，つどいの場（百歳体操）や介護予防教室，ふれあいサロンへの参加及び活動支援を行った。
- ・つどいの場（百歳体操）へ地域包括支援センター職員と同行訪問し，定期的な計測の介助を行った。



(イ) 江田島市地域包括支援センター主催の「えたじまんのつどい全体交流会」の運営支援を各ランチの担当者と協同し行った。

日 時：令和元年 11 月 20 日（水）13 時～16 時

場 所：江田島市農村環境改善センター

参加者：約 300 名

内 容：・90 歳到達者・最高齢者表彰

- ・講演会「つづけよう百歳体操！延ばそう健康寿命！～いきいき百歳体操の効果と広がり～」
講師 今田直樹氏（荒木脳神経外科病院 作業療法士）
- ・つどい活動報告（一部グループの活動事例発表）



ウ ブランチ事業の普及啓発活動

地域包括支援センターブランチの事業目的・役割・体制等について、民生委員児童委員協議会定例会やふれあいサロン、百歳体操（つどいの場）、地域の住民活動において、チラシを配付し、担当区域の高齢者や民生委員等に普及啓発を行った。



（４）生活支援体制整備事業

ア 生活支援体制整備事業

多様な生活支援・介護予防サービスの充実・新たな地域資源開発・地域住民や組織のネットワーク化を目的として、既存の小地域テーブル会議（※安心生活創造推進事業協同）をベースに、地域にある「モノ（資源）探し」や地域課題を地域組織・住民と協議し、情報共有を行い、「話し合いの場づくり」（協議体づくり）を実施した。

（ア）社会資源等情報の整理

基本的に高齢者の方々が生活上に必要な資源情報を市内４つのブランチと協力し、調査・整理した。

主な調査対象

- ・灯油配達業者、介護タクシー業者、弁当（配食）配達業者、クリーニング集配業者などの介護保険サービス以外の生活資源
- ・地域内の「たまり場」や「趣味の会」などの繋がり場

◆地域にあるモノ（お宝）社会資源調査





(イ) 協議体の設置

地域の現状（あるモノ・課題など）について、地域組織・地域住民が話し合える場（協議体）を主に第3層域で設置・推進。マッピングから地域踏査を行い、地域の見える化も行っている。

主な協議内容

- ・地域内で気になる方について（孤立気味）
- ・災害時の土砂災害危険箇所や避難体制について
- ・買い物困難者について
- ・地域の行事存続及び調整について
- ・担い手について

開催地区と回数

秋月地区 11 回，中町地区 7 回，中郷地区 3 回，山田地区 2 回，津久茂地区 1 回，鷺部地区 3 回，高田地区 3 回，柿浦地区 8 回
合計 38 回（※ふれあいサロンリーダー会議を兼ねる，安心生活創造推進事業 小地域テーブル会議と連動）
（上記以外にも，小単位のテーブル会議を実施）

◆協議体（小地域テーブル会議・地域座談会）の様子





(ウ) 啓発イベント・活動等の実施

地域内の「支え合い助け合いづくり」に向けた、多世代交流イベントや活動を地域組織・住民や関係機関と協働して進めた。

◆中町地区ウォーキング&防災炊き出し交流会
(※地域支え合いセンター事業(地域支援)協同)



◆鷺部地区住民交流イベント「歯の祭典」
(※市 保健医療課と協同)



イ 緊急通報システム業務事業 (旧江田島市光回線を利用した見守りサポート事業)
平成 26 年度に配備された光回線を利用し、高齢者・障がい者単身世帯の中で、身近な親族・親戚などが遠方にいる者に対して機器を設置し、生活状況をメールや Web 上で確認・見守り出来るサービスを実施した。

◆令和2年3月31日現在の利用者6人

※令和2年度より，市委託事業から社協自主財源事業に移行。

(5) 江田島市地域支え合い事業（江田島市地域支え合いセンター）

平成30年7月豪雨災害により罹災証明書を発行された世帯を対象に，個別訪問によるニーズ把握や相談支援・見守りを行い，必要に応じて他の専門機関等へ繋ぎ関係機関との連携を図った。

また，過去の災害を教訓として「災害に備えた地域づくり」「普段から支え合える地域」を地域住民主体で作っていきけるよう，話し合いや啓発活動・まち歩き防災などの地域支援を行っている（被災者・被災地域以外でも）。

ア 個別支援（相談対応数等）

主に，被災世帯に対する電話相談や訪問活動を進めている。センター開設から1年を迎えるにあたり，「不定期訪問」から「訪問必要なし」となるケースも増えて来ている。しかし，降雨時や出水期などでメンタル不調（高ストレス）となるケースも考えられる為，継続的且つ柔軟に関わっていく（健康チェックアンケートも併用）。

健康調査の結果で訪問が必要となる世帯に訪問し，困りごとや課題に対して支援を行う。

2019年度個別支援実績

相談員数	対象世帯数	支援延べ回数
4名	71世帯	209回

イ 地域支援（地域づくり，地域住民意識醸成・啓発等）

（※生活支援体制整備事業協同）

・活動（支援）延べ回数：219回

・活動地域：秋月地区，中郷地区，山田地区，柿浦地区，中町地区，高田地区

◆避難行動要支援者について協議，マップづくり



◆まち歩き防災実施（ウォーキング）



◆中郷地区防災声掛け訓練・まち歩き防災



ウ 啓発フォーラム&ボラ写真展の開催

日 時：令和元年6月29日（土）10：00～14：00

場 所：江田島市農村環境改善センター

内 容：① 基調説明

平成30年7月豪雨災害から一年間の地域での動き

② 基調講演

平成30年7月豪雨災害から一年を迎えるにあたって～
（これからの地域に必要なコト・求められるコト）

◆講師：ローカリズムラボ 代表 井岡仁志 氏

③ パネルディスカッション

- ・平成30年7月豪雨災害での対応や困りごとについて
- ・これからの地域で支え合っていく為には？

◆コーディネーター：ローカリズムラボ 代表 井岡仁志 氏

◆パネリスト：

秋月自治会 会長 石橋邦昭 氏

能美町民生委員児童委員協議会副会長 川崎徹 氏

江田島市障害者生活支援センター相談支援専門員

中野明子 氏



※同時開催：ボラ写真展（ボラ写PROJECT 神戸志保 氏）



(6) 地域人材確保推進事業・合同求人説明会事業

ア 地域人材確保推進事業の実施

広島県社協、呉ハローワーク、江田島市商工会や行政の関係者で構成する江田島市人材確保（介護人材含む）等総合支援協議会を発足し、地域の実情（ニーズ）に応じた、様々な業種の人材の確保・育成・定着にむけて取り組んだ。定例の協議会では、合同求人説明会や事業計画、無料職業紹介所の運営方法等について協議した。

日 時：令和元年4月22日（月）10：00～11：30
場 所：能美保健センター
関係機関：7機関
参加者：11人

イ 求人説明会事業の実施

（ア）「えたじまの会社紹介フェア」の開催

市内の福祉介護事業所と一般企業の合同で求人説明会を実施した。

日 時：令和元年8月24日（土）9：00～12：00

場 所：江田島市農村環境改善センター

事業者数：22法人

来場者：60人



（イ）広島国際大学（キャンパス内）会社説明会へ参加

広島国際大学の在校生を対象に江田島市の会社や魅力等を伝え、就職や移住を斡旋した。

日 時：令和元年6月22日（土）10：00～12：00

場 所：広島国際大学黒瀬キャンパス

来場者：約20名

（ウ）「就職まると相談&会社紹介フェア in えたじま」の開催

従来の会社説明会に加え、関係する多数の専門機関の協力を得て、就職にかかる各種相談に応じた

日 時：令和元年11月16日（土）

9：00～12：00

場 所：江田島市農村環境改善センター

事業者数：18法人

相談ブース：14関係機関

来場者：49人



ウ 奨学金

経済的な理由により進学が困難な学生に対し、市内法人に奨学金制度創設の協力を呼びかけ、結果、7法人による合同チラシを作成して関係機関に配布した。

エ 人材確保セミナーの開催

福祉介護の人材確保が難しいことから、経営者や管理者等を対象に人材確保セミナーを開催した。

日 時：令和元年11月28日（木）
13:30～15:30

場 所：江田島市農村環境改善センター

参加者：23名

内 容：・高齢者雇用のメリット
・高齢者雇用に関する法整備



オ 広島国際大学関係(人材育成事業に関する包括連携協定)

(ア) 職場見学バスツアーの実施

広島国際大学生を対象にバスで送迎し、市内の医療・福祉・介護施設を巡回して見学と職場説明を行い、就職候補地として江田島市の魅力を伝えた。

日 時：令和2年2月13日（木） 9:00～17:00

場 所：①江田島市社会福祉協議会
②特別養護老人ホーム江能
③島の病院おおたに

参加者：19名(薬学，看護，栄養，医療福祉学科)



(イ) 講師の派遣

広島国際大学の社会福祉学の講義，新入生を対象としたソーシャルワーク入門授業に講師として職員を複数回派遣した。

(ウ) 外国人実習生受け入れ

広島国際大学と姉妹校である台湾の大学生を対象に，EPA等留学生受け入れ事業の一環として，視察研修を実施した。

日 時：令和元年8月8日（木）13:00～18:00

場 所：①島の病院おおたに
②介護老人保健施設あすなろ
③特別養護老人ホーム江能

参加者：台湾慈済科技大学生 23名



カ「介護の入門研修」の共催

広島県社会福祉協議会が主催する「介護の入門研修」と共催し，介護業務の初心者を対象にして3日間の研修会を実施した。

日 時：令和元年10月3日（木），10月7日（月），10月8日（火）

場 所：①特別養護老人ホーム誠心園

②特別養護老人ホーム江能

参加者：13名

キ 啓発講演会の開催協力

福祉事業の理解を進めるために、江田島市と広島国際大学、江田島市老人福祉施設等連絡協議会と協働して啓発講演会を開催した。

日 時：令和元年9月14日（土） 13:00～15:30

場 所：江田島市農村環境改善センター

参加者：約100名

内 容：①講演会（同志社大学教授 上野谷加代子先生）

②シンポジウム（市内の医療福祉介護代表者）

ク 県域事業「福祉のお仕事フェア」へ出展

広島県域の合同求人説明会の相談コーナーに出店し、江田島市内の福祉介護求人と住む所の情報を提供した。

日 時：令和元年12月8日（日） 10:00～15:00

場 所：NTTクレドホール

参加者：131名

4 介護保険サービス事業等の実施

（1）居宅介護支援事業

介護支援専門員10名により要介護認定のための訪問調査の受託、居宅サービス計画の作成（ケアプラン）など居宅介護支援事業を実施した。

実績は別紙のとおり（P40）

（2）訪問介護事業

要介護者に対し、自宅へ訪問し、入浴や清拭等の介護や掃除・洗濯等の家事援助サービスを提供した。定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスを実施している市内2施設から訪問介護サービスを受託した。

実績は別紙のとおり（P40）

（3）通所介護事業（能美福祉センター・大柿老人福祉センターで実施）

通所により、入浴、食事、機能訓練の他、歯科衛生士による口腔ケア等のサービスを提供した。

実績は別紙のとおり（P41）

（4）福祉用具の貸与及び販売事業

車椅子・介護用ベッドなどの福祉用具貸与や、ポータブルトイレ・入浴補助用品などの特定福祉用具販売を、介護機器販売業者とタイアップして事業を実施した。

実績は別紙のとおり（P42）

5 障害者総合支援法による障害者サービスの実施

(1) 障害者居宅介護事業・同行援護事業

ホームヘルプサービス及び、重度の視覚障害により移動が困難な人に対する外出時の移動支援を実施した。

実績は別紙のとおり (P40)

(2) 障害地域支援事業

ア 移動支援事業

屋外での移動に困難を伴う重度の障害児者に対して、買い物や余暇活動の参加等社会生活上必要不可欠な外出及び、社会参加のための外出に必要な支援を実施した。

実績は別紙のとおり (P40)

イ 障害者日中一時支援事業（デイサービス）

障害があり、通所により、入浴、食事提供、機能訓練などの必要な方に対して、大柿通所介護事業所においてサービスを提供した。

実績は別紙のとおり (P41)

(3) 施設の運営（自立支援センターあおぞら）

ア 福祉事業活動として、就労継続支援 B 型、就労移行支援、生活介護を実施した。

イ 就労支援事業として、灯籠作り、貝殻通し、空缶回収、施設外就労、その他の作業を実施した。

実績は別紙のとおり。(P43)

6 貸付事業

(1) 生活福祉資金の貸付事業

低所得世帯の自立更生を促進するため、必要な資金を貸付けた。

年度当初貸付件数	新規貸付件数	償還免除件数	償還終了件数	R2.3月末貸付件数
5件	1件	0件	0件	6件

(2) 緊急一時資金の貸付け事業

低所得世帯に対し、緊急に必要な資金を貸付けた。

江田島	能美	沖美	大柿	合計
8件	9件	2件	14件	33件

(前年度 22件)

2019 度 権利擁護センターえたじま実績報告

自 2019 年 4 月 1 日 至 2020 年 3 月 31 日

成年後見制度に関する相談件数

区分	認知症 高齢者等	知的障害 者等	精神障害 者等	その他	計
問い合わせ・相談	19	1	8	5	33

かけはしに関する相談件数

区分	認知症 高齢者等	知的障害 者等	精神障害 者等	その他	計
問い合わせ・相談	43	5	6	0	54

法人後見事業利用者支援件数

区分	認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	任意後見	計
利用者数（人）	11	3	3	4	21
延件数（回）	330	143	84	159	716

福祉サービス利用援助事業（かけはし）利用者支援件数

区分	認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	その他	計
利用者数（人）	37	21	14	1	73
延件数（回）	1,347	1,158	744	53	3,302

成年後見・かけはし利用者件数

(2020年3月末現在)

種別	項 目	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	合計
法定後見	年度当初受任件数	0	1	3	6	9	10	10	16	17	17	18	18	15	14	—
	新規受任件数	1	2	4	4	2	4	8	4	2	2	4	2	4	0	43
	終了件数	0	0	1	1	1	4	2	3	2	1	4	5	5	4	33
	年度未受任件数	1	3	6	9	10	10	16	17	17	18	18	15	14	10	—
任意後見	年度当初契約件数	0	0	0	0	1	1	2	3	3	4	4	4	4	3	—
	新規契約件数	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	1	5
	終了件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	年度未契約件数	0	0	0	1	1	2	3	3	4	4	4	4	3	4	—
かけはし	年度当初契約件数	1	1	2	6	13	18	34	36	45	54	67	73	70	67	—
	新規契約件数	1	1	4	8	8	19	13	20	19	21	18	10	11	6	159
	終了件数	0	0	0	1	3	3	11	11	10	8	12	13	14	8	94
	年度未契約件数	1	2	6	13	18	34	36	45	54	67	73	70	67	65	—

2019年度 しおかぜネット(オール広島ささえあいネット)実績報告

自 2019年4月1日 至 2020年3月31日

	依頼者数	性別依頼者数		依頼総件数	町別依頼件数				内容別依頼件数											活動実績			
		男性	女性		江田島	能美	沖美	大柿	掃除	買い物	調理	洗濯	布団干し 取り込み	見守り	外出付添 通院付添	草取り	ゴミ捨て	その他	活動	お断り	保留	他	
4月	29	7	22	70	25	22	5	18	6	10	0	3	0	2	7	1	34	7	57	1	0	12	
5月	28	6	22	73	29	22	6	16	3	15	0	5	0	0	2	1	37	10	56	0	0	17	
6月	30	7	23	59	21	19	2	17	5	2	0	4	0	0	3	5	37	3	54	0	0	5	
7月	30	8	22	80	21	21	2	36	4	14	0	5	0	1	1	3	43	9	62	1	0	17	
8月	28	5	23	63	22	23	1	17	6	2	0	3	0	0	7	1	39	5	60	0	0	3	
9月	27	7	20	61	23	17	2	19	2	6	0	4	0	0	4	1	38	6	56	0	1	4	
10月	32	9	23	73	29	23	2	19	8	6	0	5	1	0	7	1	39	6	64	1	0	8	
11月	33	8	25	82	31	26	1	24	14	2	0	4	0	0	15	0	41	6	73	1	0	8	
12月	41	10	31	90	24	31	2	33	15	1	0	4	0	4	14	1	39	12	74	0	0	16	
1月	30	6	24	69	21	19	7	22	7	5	0	5	0	0	4	0	34	14	58	1	0	10	
2月	33	8	25	82	21	28	13	20	7	10	0	4	0	2	13	0	32	14	72	0	1	9	
3月	39	5	34	78	17	22	11	28	14	6	0	4	0	0	6	0	35	13	57	0	3	18	
合計	380	86	294	880	284	273	54	269	91	79	0	50	1	9	83	14	448	105	743	5	5	127	

(前年度 依頼総件数 776件)

(前年度 しおかぜ活動実績 663件)

2019 年度 江田島市買い物支援事業実績報告

自 2019 年 4 月 1 日 至 2020 年 3 月 31 日

	秋月地区	幸ノ浦地区	宮ノ原地区	鷺部地区	大須地区	柿浦地区	深江(大附)地区	沖地区	全域合計
稼働日数	88 (87)	46 (44)	46 (44)	88 (87)	46 (44)	47 (48)	47 (48)	50 (50)	231※ (229)※
延べ 来客者数	1,561 (1,538)	149 (99)	922 (748)	583 (714)	323 (323)	1,158 (1,586)	268 (264)	2,532 (2,250)	7,496 (7522)
平均日來客者	17.9 (17.8)	3.3 (2.1)	19.6 (16.6)	6.5 (8.4)	8.5 (7.7)	25.1 (33.4)	5.7 (5.5)	51.0 (44.9)	17.2 (17.1)
売 上	2,318,785 (2,391,944)	230,340 (198,060)	1,095,045 (988,270)	876,910 (914,769)	530,590 (468,046)	1,790,140 (2,606,034)	442,415 (418,880)	4,427,585 (3,674,162)	11,711,810 (11,660,085)
平均客単価	1,462 (1,548)	1,566 (1,983)	1,195 (1,336)	1,515 (1,343)	1,705 (1,457)	1,551 (1,654)	1,656 (1,635)	1,752 (1,617)	1,545 (1,568)
販売業者	(株) ー 光								後河内ストア
備 考	() 内は前年度実績 ※稼働日数の全域合計は、同一業者・販売曜日の場合は、同一集計。								

2019年度 委託相談支援事業実績報告（障害者総合支援法）

自 2019年4月1日 至 2020年3月31日

（相談支援を利用している障害者等の人数）

	実人員	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
障害者	229	45	4	85	80	13	1	1
障害児	42	0	2	10	1	29	0	0
計	271	45	6	95	81	42	1	1

（支援方法）

	訪問	来所相談	同行	電話等	個別支援会議	関係機関	その他	計
件数	1,547	359	74	2,703	64	3,001	0	7,748

（内メール 202）

（支援内容）

	福祉サービスの利用等に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	会計・経済に関する支援	生活技術に関する支援
件数	2,922	140	1,025	1,563	30	253	500	767

	就労に関する支援	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他	計
件数	218	286	44	0	7,748

主催事業

ピアカウンセラー養成講座（ぴあサポートサロン・ピース）3回

ピアカウンセラー養成講座（ぱすての会♪）10回

社会生活力を高める講座 4回

理解促進研修・啓発事業に関する事業 2回

派遣等

障害者支援区分認定調査 52件（江田島市17件、江田島市以外35件※詳細は下段のとおり）

（広島市9件、呉市4件、東広島市12件、三原市1件、福山1件、庄原市2件、安芸高田市2件、大竹市1件、安芸郡2件、府中市1件）

2019年度広島県障害者相談支援事業連絡協議会総会・定例会 3日

障害者雇用関係機関連絡会 1日

手話奉仕員養成講座（入門編）18回 （基礎編）20回

2019年度 サービス等利用計画実績表

自 2019年4月1日 至 2020年3月31日

(単位：件)

1. 障害者サービス等利用計画実績

障害者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規サービス等利用計画	2	1	0	2	1	2	3	1	1	0	0	0	13
更新サービス等利用計画	12	0	7	6	5	5	3	9	4	6	3	7	67
モニタリング実施	14	13	18	16	9	24	10	17	23	18	15	13	190
月合計	28	14	25	24	15	31	16	27	28	24	18	20	270

2. 障害児サービス等利用計画実績

障害児	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規サービス等利用計画	0	1	3	0	0	0	1	1	0	1	1	1	9
更新サービス等利用計画	10	0	0	1	2	1	2	2	3	1	2	2	26
モニタリング実施	0	0	3	2	3	7	1	3	1	1	2	6	29
月合計	10	1	6	3	5	8	4	6	4	3	5	9	64

障害者・障害児サービス等利用実績合計

見・者合計	38	15	31	27	20	39	20	33	32	27	23	29	334
-------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

2019 年度 くらしサポートセンターえたじま事業実績報告

自 2019 年 4 月 1 日 至 2020 年 3 月 31 日

1 新規相談件数

	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代～	不明	受付 総数
件数	0	5	6	8	9	24	1	53

(前年度 69 件)

2 新規相談経路

	本人 来所	本人 電話	家族 来所	家族 電話	関係機関 から連絡	自立相談 支援機関 が把握	計
件数	6	6	5	6	30	0	53

3 相談内容（複数回答）

	病気 健康 障害 介護	収入 生活費	債務 借金	仕事 就職	その他	計
件数	15	26	17	16	27	101

4 支援方法（延べ）

	電話相談 連絡	訪問 同行支援	面談	所内会議	他機関と 電話連絡 協議 会議	計
件数	265	494	127	0	264	1,150

5 相談結果

	情報提供 相談対応 のみで終了	他制度 他機関へ つなぎ	本人未同意 同意に向け 取り組む	継続支援し プラン作成	計
件数	9	2	1	41	53

※プラン作成件数

(自立相談支援事業 27 件・家計改善支援事業 14 件・就労準備支援事業 2 件)

6 就労実績（相談を受け付け、プランの有無に関わらない）

	就労者数	離職数
件数	17	5

※離職者 5 件は再就労出来ている。

2019年度 地域包括支援センターブランチ実績報告

自 2019年4月1日 至 2020年3月31日

月	相談実績等					身体状況別相談実人数					世帯状況別相談実人数					初回相談経路別相談実人数				
	開所 日数	相談 実人数	相談 延人数	訪問 実日数	訪問 実回数	寝たきり	認知症	虚弱	その他	計	独居	高齢者 世帯	その他 の世帯	計	本人	家族	民生 委員	関係 機関	その他	計
4月	21	2	7	3	3	0	0	0	2	2	2	0	0	2	0	0	1	1	0	2
5月	21	7	28	7	9	0	2	0	5	7	5	0	2	7	0	0	3	4	0	7
6月	20	11	36	13	13	0	2	0	9	11	2	3	6	11	1	8	1	0	1	11
7月	22	11	46	5	7	0	4	0	7	11	4	3	4	11	1	5	2	2	1	11
8月	21	8	32	7	12	0	4	2	2	8	7	0	1	8	1	2	2	3	0	8
9月	19	9	32	5	6	0	6	0	3	9	6	1	2	9	1	1	1	4	2	9
10月	21	9	46	10	16	0	3	2	4	9	6	0	3	9	0	1	5	2	1	9
11月	20	9	36	10	13	0	2	1	6	9	5	1	3	9	3	2	1	2	1	9
12月	22	10	37	6	7	0	1	0	9	10	6	1	3	10	1	2	2	3	2	10
1月	19	7	15	5	5	0	1	0	6	7	5	2	0	7	3	1	0	1	2	7
2月	18	8	16	7	8	0	0	0	8	8	5	2	1	8	2	1	3	2	0	8
3月	25	10	61	10	24	0	0	0	10	10	4	3	3	10	1	1	7	1	0	10
合計	249	101	392	88	123	0	25	5	71	101	57	16	28	101	14	24	28	25	10	101

(今年度新規事業の為、昨年度実績との比較なし)

2019年度 江田島市社協居宅介護支援事業実績

介護度別利用実人数

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	割合
要支援1	31	32	33	32	29	28	29	26	25	23	21	21	330	7.6%
要支援2	44	45	45	44	46	46	42	44	42	41	37	38	514	11.8%
要介護1	99	90	95	97	93	91	94	89	88	93	90	88	1,107	25.4%
要介護2	94	95	92	99	98	100	104	100	100	98	98	94	1,172	26.9%
要介護3	62	61	62	60	57	61	57	63	57	60	63	64	727	16.7%
要介護4	28	26	31	33	31	29	29	30	29	26	28	27	347	8.0%
要介護5	14	11	13	12	12	5	14	14	16	16	15	16	158	3.6%
計	372	360	371	377	366	360	369	366	357	357	352	348	4,355	100%

月平均利用実人数 362.92 人 (介護支援専門員 10 名) 36 人/CM

2019年度 江田島市社協訪問介護事業実績

1 介護保険サービス

介護度別利用実人数

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	割合
要支援1	33	31	28	29	28	29	28	28	27	26	25	26	338	21.7%
要支援2	23	25	25	24	26	25	21	21	19	19	17	18	263	16.9%
要介護1	36	34	32	33	34	34	32	30	28	29	31	31	384	24.6%
要介護2	26	27	28	28	29	29	30	31	29	27	28	29	341	21.9%
要介護3	14	13	12	11	11	11	8	12	11	12	10	10	135	8.7%
要介護4	5	4	6	6	6	7	7	7	6	6	6	7	73	4.7%
要介護5	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	1.5%
計	139	136	133	133	136	137	128	131	122	121	119	123	1,558	100%

月平均利用実人数 129.8 人 (前年度 1,638)

2 障害福祉サービス

利用実人数

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
居宅介護	11	10	10	10	11	11	11	11	11	11	10	10	127
同行援護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	11	10	10	10	11	11	11	11	11	11	10	10	127

月平均利用実人数 10.6 人 (前年度 165)

3 地域生活支援事業

利用実人数

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
移動支援	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1

月平均利用実人数 0.1 人 (前年度 2)

4 委託 (24時間定期巡回への応援)

利用実人数 (括弧内は訪問回数)

単位：人(回)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
江能	3(76)	3(62)	3(72)	3(72)	3(62)	3(65)	3(74)	3(68)	3(43)	3(44)	3(42)	3(26)	36(706)
吉田	2(26)	2(19)	2(19)	2(27)	2(15)	2(12)	2(13)	2(22)	1(10)	1(9)	1(9)	0(0)	19(181)
合計	5(102)	5(81)	5(91)	5(99)	5(77)	5(77)	5(87)	5(90)	4(53)	4(53)	4(51)	3(26)	55(887)

月平均利用実人数 4.6 人 73.9 回 (前年度 55(892))

2019年度 江田島市社協通所介護事業実績

1 介護保険

能美事業所

(1) 介護度別利用実人数

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	割合
要支援1	10	11	11	12	10	10	10	10	12	12	11	12	131	13.2%
要支援2	12	13	12	11	12	12	11	12	12	12	10	12	141	14.2%
要介護1	20	18	16	16	17	15	12	11	14	14	11	9	173	17.4%
要介護2	26	26	28	28	26	26	25	24	21	23	24	23	300	30.2%
要介護3	14	13	16	17	17	15	15	18	19	19	20	19	202	20.4%
要介護4	2	1	2	2	3	3	2	1	1	2	3	3	25	2.5%
要介護5	2	2	2	1	1	1	2	2	2	2	2	2	21	2.1%
計	86	84	87	87	86	82	77	78	81	84	81	80	993	100%

月平均利用実人数 82.8 人

(前年度 1,018)

(2) 介護度別利用延べ人数

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	割合
要支援1	36	44	37	41	32	38	44	41	39	43	43	48	486	6.6%
要支援2	105	108	104	93	74	74	83	82	83	77	66	86	1,035	14.0%
要介護1	130	115	121	126	117	111	110	96	93	100	82	67	1,268	17.2%
要介護2	224	210	225	232	218	215	233	210	176	184	200	173	2,500	33.9%
要介護3	150	137	144	166	134	147	128	161	160	171	176	174	1,848	25.0%
要介護4	13	8	14	19	17	20	13	4	3	7	11	32	161	2.2%
要介護5	4	11	5	4	4	4	7	9	8	7	7	8	78	1.1%
計	662	633	650	681	596	609	618	603	562	589	585	588	7,376	100%

月平均利用実人数 614.7 人

(前年度 7,247)

大柿事業所

(1) 介護度別利用実人数

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	割合
要支援1	5	6	7	8	8	7	7	7	7	7	7	8	84	8.7%
要支援2	15	14	13	13	12	12	12	11	11	9	8	10	140	14.5%
介護度1	21	23	24	6	24	20	20	18	20	21	22	23	242	25.0%
介護度2	22	19	19	19	20	21	21	20	20	20	20	19	240	24.8%
介護度3	15	17	15	17	14	17	18	18	15	14	13	13	186	19.3%
介護度4	1	1	2	3	3	3	2	3	3	2	3	3	29	3.0%
介護度5	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	5	5	45	4.7%
計	82	83	83	69	84	84	84	81	80	77	78	81	966	100%

月平均利用実人数 80.5 人

(前年度 996)

(2) 介護度別利用延べ人数

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	割合
要支援1	20	23	29	33	30	27	27	27	28	25	28	31	328	4.3%
要支援2	100	90	81	93	81	88	82	87	74	64	63	70	973	12.8%
介護度1	170	204	211	225	181	159	155	149	149	137	163	173	2,076	27.2%
介護度2	175	173	167	172	137	160	182	196	185	196	199	180	2,122	27.8%
介護度3	143	140	134	151	122	125	128	152	126	101	99	121	1,542	20.2%
介護度4	8	8	14	22	23	25	22	23	23	14	25	28	235	3.1%
介護度5	24	21	24	26	26	30	32	29	29	29	40	40	350	4.6%
計	640	659	660	722	600	614	628	663	614	566	617	643	7,626	100%

月平均利用実人数 635.5 人

(前年度 7,409)

2 障害者日中一時支援

大柿事業所 (利用延べ人数)

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
障害者	17	17	15	18	16	19	16	17	16	17	16	14	198

月平均利用実人数 16.5 人

(前年度 151)

2019年度 江田島市社協福祉用具貸与事業所実績

1 福祉用具貸与事業実績

(1) 介護度別利用実績人数

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	割合
要支援1	46	43	40	43	42	43	45	45	47	47	43	41	525	12.8%
要支援2	43	44	51	47	50	54	52	53	51	54	54	52	605	14.7%
要介護1	73	69	67	74	75	73	73	69	67	70	71	64	845	20.4%
要介護2	94	85	88	90	88	91	91	91	94	88	81	86	1,067	25.9%
要介護3	54	58	62	61	55	55	53	57	54	55	54	54	672	16.2%
要介護4	19	16	19	22	25	27	25	28	26	25	25	26	283	6.9%
要介護5	11	9	10	9	9	11	11	11	13	12	13	13	132	3.1%
計	340	324	337	346	344	354	350	354	352	351	341	336	4,129	100%

月平均利用実人数 344.08 人

(前年度 3,913)

(2) 福祉用具別利用実績

単位：台

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	割合
車椅子	72	72	71	75	77	80	77	77	82	76	65	71	895	8.8%
特殊寝台	102	91	92	95	95	96	99	103	104	102	98	103	1,180	11.7%
床ずれ防止用具	26	25	22	24	22	24	21	19	20	22	20	17	262	2.6%
体位変換器	5	6	6	8	7	7	7	7	7	7	7	7	81	0.8%
手すり	332	332	342	346	355	361	352	353	360	341	323	330	4,127	40.8%
スロープ	115	101	107	111	112	115	111	117	109	107	101	111	1,317	13.0%
歩行補助関連	173	161	161	162	165	168	173	182	183	194	169	180	2,071	20.5%
徘徊感知機器	1	1	1	2	4	6	6	6	4	5	5	6	47	0.5%
移動用リフト	12	13	14	14	14	12	10	11	10	9	9	9	137	1.3%
計	838	802	816	837	851	869	856	875	879	863	797	834	10,117	100%

(前年度 9,111)

(3) 介護保険適用外福祉用具利用実績人数

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	48	49	44	44	44	45	43	39	37	40	41	39	513

月平均利用実人数 42.75 人

(前年度 542)

(4) 介護保険適用外福祉用具別利用実績

単位：台

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	割合
車椅子	4	5	5	6	8	8	7	7	6	5	3	3	67	9.8%
特殊寝台	35	35	44	44	46	42	37	33	33	33	34	34	450	65.8%
その他	16	16	19	18	19	18	14	14	13	13	4	3	167	24.4%
計	55	56	68	68	73	68	58	54	52	51	41	40	684	100%

(前年度 750)

2 特定福祉用具販売事業実績

	実人数	シャワー チェア	ホー ー フル トイレ	浴槽 手すり	浴槽台	バス ホ ート	補高 便座	簡易 トイレ	すのこ	計
要支援1	7	4	2	1	2	0	0	0	0	9
要支援2	14	9	2	2	6	0	0	0	0	19
要介護1	13	8	2	3	3	0	0	0	0	16
要介護2	24	12	7	3	7	2	0	0	0	31
要介護3	8	4	4	2	0	0	0	0	0	10
要介護4	3	2	1	0	0	0	0	0	0	3
要介護5	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1
合計	70	39	19	11	18	2	0	0	0	89

(前年度 101)

2019年度 自立支援センターあおぞら事業実績

1 障害福祉サービス

(1) 就労継続支援B型

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用延べ人数	286	314	305	360	321	313	340	336	311	282	287	289	3,744

月平均利用実人数 312.00 人

(前年度 3,971人)

(2) 就労移行支援

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用延べ人数	20	22	16	0	0	1	4	0	0	0	0	0	63

月平均利用実人数 5.25 人

(前年度 28人)

(3) 生活介護

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	割合
区分3	14	12	12	14	12	16	13	14	11	10	12	9	149	8.1%
区分4	84	81	77	85	78	79	112	81	86	73	72	83	991	53.6%
区分5	63	63	58	65	60	61	45	59	57	57	57	63	708	38.3%
区分6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
利用延べ人数 合計	161	156	147	164	150	156	170	154	154	140	141	155	1,848	100%

月平均利用実人数 154.00 人

(前年度 1,802人)

2 就労支援事業

	作業実績	(前年度)
灯籠作り	売上本数 17,944本	売上本数 17,617本
貝殻通し	通し本数 23,500本	通し本数 29,900本 穴あけ 433,300枚
空缶回収	回収量 3,817kg	回収量 3,913kg
施設外就労	本庁掃除 98回, ATM清掃 12回, オリーブ農園作業 15回	本庁掃除 87回
その他	靴下端切れマット製作販売, 銀杏 販売, 大柿老人福祉センター常設 出店	靴下端切れマット製作販売, 銀杏 販売, 桂浜温泉館・大柿老人福祉 センター常設出店